



Gifu Keizai University

# KU NOW!

岐阜経済大学マガジン

vol.  
84

2013.JUNE



【特集】<sup>2</sup>

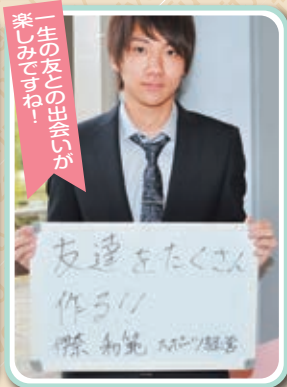
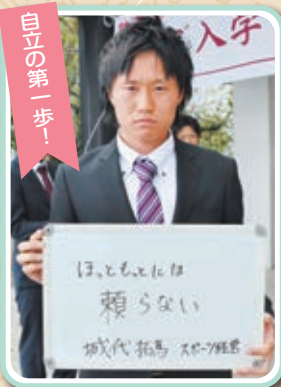
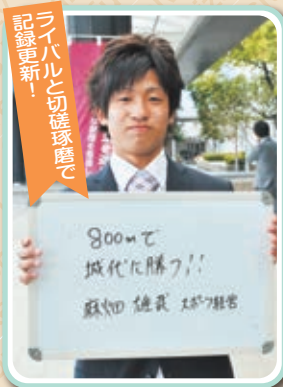
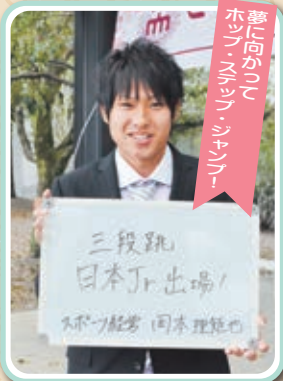
# 新入生に聞いた! 大学生生活で頑張りたいこと

- ④ 目標となる先輩を見つけよう! 輝く岐経大生
- ⑥ 交流の輪を広げよう
- ⑧ 輝け!アスリートたち
- ⑩ 教育最前線
- ⑫ キャリア支援課だより

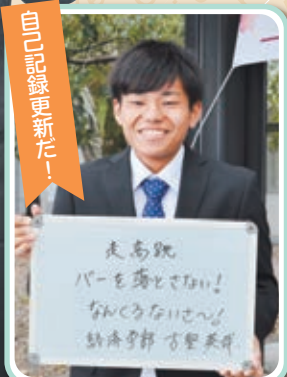
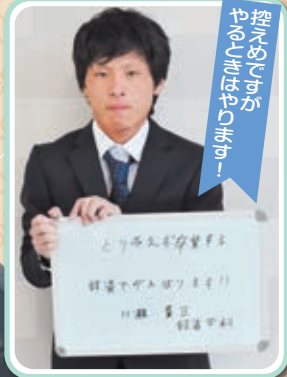
- ⑬ 研究室だより
- ⑭ キャンパス彩々
- ⑯ オープンキャンパス/親和会総会・父母懇談会/教職員人事



**新** 任教員  
からの  
メッセージ



仲間と共に  
オールGKUの  
精神で夢を  
叶えよう!!



# 目標となる先輩を見つけよう! 輝く 岐経大生



新入生の皆さん、覚えていますか？入学式での在学生代表  
表吉川類さんからの祝辞を…

「大学生活の中で、  
「憧れの先輩、  
目標となる先輩」を  
見つけてください。」



タイプは違えど、何かに向かい、一生懸命頑張っている先輩がこの岐阜経済大学にはたくさんいます。その中から将来あのような先輩になりたいと思える人を見つけてください。そこで、ごんごんその人のいいところを真似してみてください。時には話しかけてみてほしいのでしょ？。話をすることであなたの心に火がつくかもしれません。」

岐阜経済大学には、ゼミや研究、好きなことや地域の人々のために全力で取り組んでいる学生がたくさんいます！ここで紹介できるのはほんの一部の学生ですが、学生生活で目標となる先輩たちを紹介します。

## なぜ、今の研究に取り組んでいるのですか？

SNSや動画サイトといったコミュニケーションツールやメディアが急速に普及し、携帯電話などの情報機器も進化を遂げ、私たちにとってなくてはならないものとなっています。そういった時代の中で、メディアが及ぼす影響と社会的役割を正しく理解し使いこなすことは、これからの私たちに必要となる技術だと思えます。

私はギター部に所属しており、音楽を演奏し歌うことが好きです。また、インターネット上の音楽コンテンツにも興味があります。さらに最近では、文化系サークルや情報メディアの学生たちを中心としたコンテンツの公開の場でもある「学生広報スタジオGKB」のサイト運営にも携わっています。

## これからどのような研究をしたいのですか？

情報メディア学科に入って映像や音楽の制作方法などを具体的に学んできました。そこで、これからは様々な情報機器でメディアコンテンツを作り、メディアの可能性と課題を実証研究してみたいと思っています。

## メディアの可能性と課題の実証研究を!



安田ゼミ所属  
浅井 宏介さん  
情報メディア学科3年  
岐阜農林高校出身

## 人々の笑顔に繋がるボランティア



ボランティア  
ラーニングセンター  
(ボラセン)所属  
佐々木 愛乃さん  
(大野ゼミ)  
スポーツ経営学科3年  
大山高校出身

▲佐々木さんは上段の右から3人目

## 今一番力を入れていることは？

ボランティアラーニングセンター(ボラセン)のスポーツ部門では、9月21日に「地域大運動会」を企画しています。本学の学生はボランティアとの関わりが少なく、特にスポーツ経営学科の学生に関しては、クラブに所属している学生が多くて時間がないという理由によります。そんな学生にもボランティアに興味を持ってもらえるように、スポーツに関係のあるボランティアの企画に至りました。そこからボラセンを知ってもらい、ボランティアに興味を持ってもらえればいいと考えています。

## やりがいを感じる時は？

「ボランティア学習大会や「SVC」(プレゼン大会)など、外部の方を招いて行われるプレゼンやボランティアの企画運営が成功したときです。メンバーみんなの時間があわないなかで、何回も集まり、話し合い、ボランティア企画のプレゼンが成功したときや、その企画が成功して人々の笑顔に繋がったときは、より一層やりがいを感じることが出来ます。

## 卒業生にはこんな先輩も!



就職先  
社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会  
堀 あゆ美さん  
(2008年度コミュニティ福祉政策学科  
(現:公共政策学科)卒業)

## 現在どのような仕事をしていますか？

「社会福祉士の資格を活かせる場所働きたい」という夢が叶い、現在私は、地元岐阜県の社会福祉協議会に勤めています。主な仕事内容は、福祉に関する資格の試験業務や月一回発行する広報誌の編集です。広報誌では、多くの人に福祉の今を伝えたいという取組や読みやすさに力を入れています。福祉を取り巻く状況は厳しいですが、その中で何が出来るか、何をすべきかを常に意識できるこの仕事にやりがいを感じています。

## 学生時代の堀さんは？

大学では、日々の講義の他、マイスター倶楽部に所属し、関心のあった福祉教育について調査・研究しました。また、同級生や先生とボランティアサークルH・I・G・E☆BBUをつくり、活動したことも大切な思い出です。卒業してから新聞で後輩の活躍を見ると懐かしく、嬉しくなります。

## 在学生へのメッセージ

学生のみならず、講義はもちろん、部活や課外活動アルバイトと大学生活を楽しみ、ぜひ多くの方の出会いを大切にしてください。その経験が社会で役立つ役に立ちます。

ソフトピア  
共同研究室  
所属

**武藤 武さん**  
(安田ゼミ)

情報メディア学科3年  
郡上北高校出身

**日々が自分の成長に繋がる!**



**やりがいを感じるときは?**  
プロジェクトによっては企業や地域の方と連携することがあります。そういった場合の「コミュニケーション」の取り方は、友達と接するようなものではないので難しいものがありますが、とても勉強になり、やりがいを感じます。

**今番力を入れていることは?**  
私はマイスター倶楽部の土まるけネットワーク(TMN)グループに参加しています。TMNは揖斐川町と大垣市が農業を通じて繋がり、大垣市中心市街地を活性化しようという事業です。



**ソフトピア共同研究室ではどのような活動をしていますか?**  
私は、ソフトピア共同研究室で学部生リーダーをしています。研究室には、いくつかのプロジェクトがあるのですが、それらの報告、連絡時には相談を受けて指示を出すことを主な活動としています。また、私自身も1つ関連のプロジェクトを持っており、プロジェクトの展望やプログラミングを考察し、それを学会などで発表しています。最近では、宮城県の東北大学で行われた情報処理学会へ参加し、外部の人との交流をしてきました。

**家族のような付き合いができる仲間との出会い!**



▲林さんは右から3人目

マイスター倶楽部  
所属

**林 美穂子さん**  
(井戸ゼミ)

情報メディア学科4年  
恵那農産高校出身

**やりがいを感じる理由は?**  
明宝地区では「國田家の芝桜」の維持や観光ツアー、田植えから収穫・収穫祭までのイベントを開催し、多くの方に参加していただきました。イベントを開催し、参加してくれた人たちのたくさん笑顔を見ると、とてもやりがいを感じます。また、様々な企画をおして、仲間たちとの絆が深まり、家族のような付き合いができることも嬉しく思います。

**今番力を入れていることは?**  
私はマイスター倶楽部の土まるけネットワーク(TMN)グループに参加しています。TMNは揖斐川町と大垣市が農業を通じて繋がり、大垣市中心市街地を活性化しようという事業です。TMNは今年で14年目を迎え、年ごとに個性あるイベントを開催しています。私は、大垣駅前での野菜販売や農業体験ツアー、駅前にあるまちなか共同研究室での豆腐の製造体験(写真)を企画しました。豆腐の製造体験は、高校の食品科学科で学んだことを生かしました。参加者の方からは、「とても楽しかった」「また参加したい」などの感想をいただくことができました。今年はこの企画をさらに大きなものにしていくことと、農業体験ツアーの大幅改善に力を入れていきたいです。私にとって今年が最後の年なので、お世話になった方たちへ恩返しができるように頑張りたいです。

**学生生活の過ごし方を考える機会を与えてくれました!**



企業人  
育成コース  
所属

**渡辺 元さん**  
(藤井ゼミ)

経済学科3年  
武生商業高校出身

▲揖斐川工業(株)の栽培システムIKポット(録植え)の視察を視察する渡辺さん(右から2人目)

**やりがいを感じるときは?**  
地域企業研究Ⅲという授業で企業の方に講義をしていただくのですが、そこでは普段聞くことのできない貴重な話を聞いていただけます。その話を聞くことができるのは岐阜経済大学でもこの授業だけです。毎回授業が終わるたびに企業人育成コースに入ってきたと感じます。

**今番力を入れていることは?**  
私は経済学科の企業人育成コースに所属しています。企業人育成コースでは、協力企業の方に大学まで来ていただき、それぞれの企業の歴史や経営方針、産業・業界の展望などを講義していただきます。企業の方の講義は地域企業に対する見識が高められ、社会で必要となる能力などもわかり、今後の学生生活の過ごし方を考える機会ともなっています。

**なぜ公務員を目指しているのですか?**  
私は県職員を目指しています。県職員を目指す理由は、岐阜県に住む人にもっと岐阜県の魅力を知ってもらいたいと思ったからです。2年生になり、本格的に公務員専攻の授業がスタートし、身近にだけ普段は意識しない公共について学んでいます。様々な角度から見ると地方自治や公共政策は難しいですが、新鮮なことばかりでとても興味深いです。また、PAC(公務員、教員試験対策講座)の公務員対策プログラムを受け、今の自分には足りないところが沢山あることを知りました。今まで、試験対策は3年生くらいから始めればいかなと思っていました。私は数的処理が超のつくほど苦手な、今から始めないと間に合わないということに気づき、少しずつですが勉強を始めています。

**今頑張っていることはありますか?**  
私は課外活動ではソフトボール部に所属しています。今まで勉強と部活動の両立ができません。妥協してしまうところがありました。今年は勉強も部活動も全力で取り組むことを目標にしています。時間の関係上、どちらも完璧にこなすのは困難なときもあります。そのときは、犠牲になった方を余裕のある時間にかき補って、悔いの残らないようにしています。簡単なことではないけれど、自分を変えるチャンスなので、とにかくチャレンジしたいです。

**学生時代の高橋さんは?**  
在学中は学業に励む傍ら、陸上競技部にも所属し、アルバイトもしていました。そんな中で、与えられた時間を有意義に使い、何を優先すべきかを常に考えながら生活をしていました。

**やりがいを感じるときは?**  
教材研究をしっかりと行い、そのことが授業でしっかりと実践できたことです。そして「教員」という職業は常に人と接しています。生徒やその保護者の方々から学校生活を通じて、頼りにされたときにはとてもやりがいを感じます。

公務員志望

**西野 彩香さん**  
(今井ゼミ)

公共政策学科2年  
雄山高校出身

**将来は岐阜県の魅力をアピールできる県職員に!**



**卒業生にはこんな先輩も!**

**現在どのような仕事をしていますか?**  
奈良県の公立中学校で教員をしています。教科は保健体育で、2年生の担任もさせていただいています。

**やりがいを感じるときは?**  
教材研究をしっかりと行い、そのことが授業でしっかりと実践できたことです。そして「教員」という職業は常に人と接しています。生徒やその保護者の方々から学校生活を通じて、頼りにされたときにはとてもやりがいを感じます。

**学生時代の高橋さんは?**  
在学中は学業に励む傍ら、陸上競技部にも所属し、アルバイトもしていました。そんな中で、与えられた時間を有意義に使い、何を優先すべきかを常に考えながら生活をしていました。

**在学生へのメッセージ**  
学生の皆さんに私から伝えたいことは二つあります。一つ目は日頃の生活や行いを大切にして、自分を日々成長させていってください。自分を成長させるきっかけは意外と身近に転がっています。まずはそれを探してみてください。二つ目は大学の先生とたくさん会話をしてみてください。そうすることで今までの知らなかった自分の可能性に気がつくことができると思います。

就職先  
奈良県教員  
**高橋 謙太郎さん**  
(2011年度スポーツ経営学科卒業)



# 交流の輪を広げよう!!

## 涙の卒業セレモニー —忘れられない思い出—

アメリカ ハワイ大学マノア校

島田 美咲さん (経済学科3年 石原ゼミ 中部商業高校出身)

私は海外語学研修でハワイに3週間留学しました。出発前は楽しみにしていましたが、引率の先生もいないので、到着してすぐにバスの定期券を買いに行きましたが、なかなか英語が通じず苦労しました。初日の感想は、こんな調子で大丈夫なのか?本当に大学に通って楽しめるのか?など不安だらけのスタートでした。

次の日からハワイ大学に通い、クラス分けのテストや全日程の説明などを受けました。大学には様々な国の学生がいて、多くの国の人が集まるハワイと聞いていましたが、これがそうなのかと思い知らされました。現地の学生はとても優しく、明るい人ばかりで初日の不安はなくなりました。

3週間という研修期間でしたが、まだまだ学ぶことがあることや、自分の語学レベルの低さに気づかされました。また、現地の学生と交流して、ほかの国へも行きたい!もっと話したい!勉強したい!という今までにない気持ち溢れてきました。

そして、卒業セレモニーでは、友人や担任のグレッグ先生と別れるのが辛く涙しました。ハワイ大学での3週間で、現地の人や授業が終わっても私たちの質問一つひとつ丁寧に答えてくれたグレッグ先生の優しさに触れ、All Englishの難しいホームワークをクラスメイトと協力してやり遂げたことなど、忘れられない思い出がたくさんできました。

この貴重な経験をさせてくださった岐阜経済大学・ハワイ大学の先生方や両親、部活のメンバーに感謝しています。この経験を無駄にしないように日々勉強し、ハワイに戻る機会があれば現地の友達とたくさん話せるように精一杯頑張りたいと思います。



## 現地の人々の 優しさに触れた旅

ドイツ語 —EFカレッジのミュンヘン校—

福山 歩さん (スポーツ経営学科3年 篠田ゼミ 尾鷲高校出身)

私は海外語学研修でミュンヘンに行きました。初めての海外で出発前は不安で一杯でしたが、ホストファミリーがすごく優しい家族で、毎日ファザーかマザーが夕飯を作ってくれました。食べたことのない料理や、日本とちょっと見た目が違うものなど、どれも美味しいものばかりでした。夕食後は家族と話す時間で、はじめは聞くことしかできず、会話ができたときはすごく嬉しかったです。

学校はクラス分けがされていて、様々な国の人がいました。仲良くなれるか心配でしたが、ジェスチャーや片言のコミュニケーションで、たくさんの子と友達になりました。その友達と食事に行ったりして交流を深めました。ドイツのレストランには仕切りがなくて、歌っている人や昼間からビールを飲む人がいて驚きました。

学校で建造物を見学する時間があり、ドイツの建物は綺麗なものばかりで、天井に絵が描かれている教会はすごく感動しました。滞在中には、ミュンヘンの中心街でカーニバルパーティーが行われていて、たくさんの人が仮装をして歌ったり、踊ったりしていて、日本の祭りとは違い新鮮でした。

ドイツの人たちは、道に迷ったときは声をかけてくれて目的地まで連れていってくれたり、言葉が通じないときは分かるまで教えてくれました。3週間はとても短く感じましたが、毎日が充実していて本当にいい経験になりました。絶対にもう行って、今度はしっかりと話せるように勉強を続けていきたいです。



## 今年度、留学生別科に入学した

アメリカ出身のウィリアム ヴィクター シュミッドさんと韓国出身のソン ドンインさんにインタビューをしました。



ウィリアム ヴィクター シュミッドさん

出身地はどこですか?

アメリカのフロリダ州にあるオーランドというところ。ディズニーランドに30分ぐらいで行けるところです。

なぜ岐阜経済大学に留学しようと思いましたか?

昨年の9月から12月にかけて大垣市にあるお寺にホームステイをしました。その時に留学をするなら、岐阜経済大学がいいと勧められたのが岐阜経済大学に留学しようと思ったきっかけです。また、私の先祖をたどっていくと岐阜出身の人がいると知り、運命的なものを感じました。

日本の印象はどうですか?

アメリカと比べてみんな丁寧で優しい!コンビニでどんな小さなものを買っても「ありがとうございます。」と言ってくれます。

これから挑戦してみたいことは?

今、ボランティアで小学生に英語を教えていて、それがすごく楽しいです。いつかは、日本人と外国人を結ぶような仕事かしてみたいです。あと、デザインにも興味があるので、建築関係もいいと思います。



ソン ドンインさん

出身地はどこですか?

出身地は韓国のソウルです。7歳から10歳まではアメリカのコロラド州に住んでいました。

なぜ岐阜経済大学に留学しようと思いましたか?

私は高麗大学の1年生で、父は高麗大学の教授をしています。父が1年間、岐阜大学の客員教授になったので、父と母と一緒に日本にやってきました。そして父が岐阜県の大学で日本語を勉強するなら、岐阜経済大学がいいと調べてくれたので、入学することにしました。

日本の印象はどうですか?

店員さんの対応など、自分の国とは比べ物にならないほど丁寧で気分がいいです。あと食べ物おいしいです。チェーン店などでもおいしい!おいしい!

これから挑戦してみたいことは?

日本語を勉強したいです。1年間日本で勉強し、帰国してもう1年韓国の自分の大学で勉強して、また交換留学生として日本に戻ってきたいです。戻ってきたときには、体育教育に興味があるので、その勉強をしたいです。日本が気に入ったので、将来は日本に関係のある仕事に就きたいです。

## 2013年度 交換留学

The letter  
from China.

### 石野田 桃さん

(経済学科3年 石原ゼミ 八重山商工高校出身)

早いもので中国での生活が2カ月経ち、日々充実した生活を送っています。もちろん生活習慣の違いや、文化の違いで戸惑うことは多々ありますが、やはり異国の地ですのでこればかりは避けて通ることのできないものだと実感しています。

今、日中の関係はとても良好とはいえない状況ですが、中国の学生たちはみんな日本の歴史や流行が好きで、日本のニュースで流れているような過激な人はごくわずかです。中国の友人たちはみんな口を揃えて、「日本が好きなことと政治は、まったく別問題だ。」と言っています。なので、日本人だからといって不快な思いをさせられたり、罵声を浴びられることはありません。

一緒に勉強している日本語学科の学生たちは、困ったことがあると親切に助けてくれて、わからない中国語を教えてくださいます。そのおかげで最初のころに比べて、日本語を使う機会がだんだん少なくなってきました。休みの日には一緒に食事に出かけて気分転換もしています。左の写真は中国で全国チェーンの鍋料理のお店に行ったときのものです。

複雑な日中関係ではありますが、日本に対する過激な行為の報道だけでなく、お互いにとって良いニュースが少しでも多く流れてほしいと考えています。



▲江西師範大学の図書館をバックに撮影



## 2013年度 交換留学

The letter  
from Hawaii.

### 八木 秀人さん

(スポーツ経営学科2年 岩坂ゼミ 岡谷南高校出身)

私が留学した理由は、大学生活をchallengeの4年間にしたいと思ったからです。昨年は販売士の資格取得を、そして今年は海外に身をおき、語学や文化を学び、知らない地で自分がどこまで通用するかを知りたいと考えたからです。

現地での生活はととても大変で、初めてぶつかる言葉の壁に苦戦しています。今の自分の力では考えや思いを伝えることが精一杯で、明日のことなど二の次です。こんなに追い詰められたのは初めてですが、この経験ができたことが儲けものだと思っています。

生活面では、最初は緊張したホームステイ先の家も、今は落ち着ける場所になりました。また、テレビを観るといふ何気ないことでも、英語の勉強になるので非常に楽しいです。最近はホストファミリーとNBAの試合中継を観るのが日課になっています。

アメリカの大学では、授業において自分の意思や考えを表現することを大切にしているので、聞く・書く・発するという3要素が求められます。英語で行われる授業を理解することはもちろん、他の人に負けないように自分の意見・意思を口に出すことを今まで以上に特に頑張っています。

そして、友人もたくさんできました。写真は韓国・台湾の友人と食事をしたときのものです。最後にハワイといえば海です。海は本当に綺麗で、週末は友達と一緒にビーチに出掛けたりショッピングを楽しんだりして、1週間の疲れをとり、また次の週へ臨む!というような週末を過ごしています。



▲ハワイ大学マノア校の校舎



## 異文化に触れる 神秘の国カンボジア

2月12日から15日にかけて竹内治彦教授の企画・随行のもと、2012年度異文化体験旅行を行いました。学生10名がカンボジア第2の都市で、アンコールの遺跡群があるシェムリアップを視察し、現地の方々と交流しました。

今回の体験旅行では、人身売買の撲滅や世界遺産の遺跡保護などの課題が山積し、アジアの貧困や初等教育を受けることができない状況を知り、学ぶことが自立や地位向上の出発点となり、学ぶことへの動機付けを強く感じてもらうことを目的としています。

視察先では、「女性の自立支援NPO活動の見学」、「遺跡保存の日本政府プロジェクト(JASA)の訪問」、「伝統文化研究所(古来のやりかたで絹織物をつくる)の見学」、「遺跡横で孤児院を運営している革細工店を訪ねての子どもたちとの交流」など様々な活動を実際に視て学びました。

### 参加した学生の感想

#### 鈴木 咲子さん

(スポーツ経営学科4年 福地ゼミ 東海大学付属翔洋高校出身)

今回の旅行で一番印象に残っていることは、三日目の孤児院訪問です(写真)。日本の漫画を百冊と、鉛筆や消しゴムなどの文房具を寄贈しました。その後に日本から持参した長縄や風船、折り紙など簡単に遊べる日本に昔からある遊びで子供達と遊びました。子供達はとても楽しそうに遊んでくれて、その無邪気な姿に私たちが元気付けられました。さらに私たちが普段何気なく買い、何気なく使い、何気なく捨てていく本や文房具をもらい、喜んでくれている姿を見て、今自分が使っているものの大切さや重要性を見直すきっかけにもなりました。

それに加え、世界遺産を見学し、現地の方とふれあい、現地の生活様式を目の当たりにして、異文化を思う存分体験できた、すばらしい機会になりました。





# 女子ソフトボール部

WOMEN'S SOFT BALL

## 東海地区大学ソフトボールリーグ1部に昇格

### 個人タイトル獲得者(2部)

- 最優秀選手賞 大塚友紀(スポーツ経営学科3年 本巣松陽高校出身)
- 最優秀防御率賞 小崎愛美(スポーツ経営学科3年 伊勢学園高校出身)
- 最高打率賞 新美天理(スポーツ経営学科3年 東海商業高校出身)

### 第61回東海地区大学ソフトボールリーグ戦結果

岐阜経済大学	10-0	名古屋大学(4回コールド)
岐阜経済大学	3-1	常葉大学
岐阜経済大学	12-2	中京学院大学(5回コールド)
<b>入替戦</b>		
岐阜経済大学	9-5	東海学院大学



4月29日から5月5日にかけて愛知県豊田市運動公園にて第61回東海地区大学ソフトボールリーグ戦が行われました。

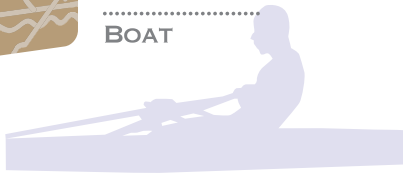
昨年秋季の同大会において2部に降格した本学は、予選リーグを無敗で終え、2部優勝。

その後行われた1部との入替戦にも勝利し、1部復帰を果たしました。



# ボート部

BOAT



### 対象者

- 信里英梨香(スポーツ経営学科4年 坂出高校出身)
- 加納 貴子(スポーツ経営学科3年 コザ高校出身)
- 新里 杏菜(情報メディア学科3年 コザ高校出身)
- 植松 詩織(スポーツ経営学科2年 沼津工業高校出身)



## 平成24年度 岐阜県教育長表彰・第10回大垣市民大賞 ダブル受賞

平成25年3月22日(金)、岐阜県図書館において、文化、スポーツ等の各分野における全国大会において、3位以内に入る等、優秀な成績を収めた個人及び団体が表彰される「平成24年度 岐阜県教育長表彰」を受賞しました。

受賞内容としては、全日本軽量級選手権女子舵手なしクオドルプル及び全日本新人選手権女子ダブルスカルにおける準優勝でした。受賞後4名は、「昨シーズンに満足することなく、今シーズンこそ優勝を目指す」と力強い意気込みを聞かせてくれました。また、本学ボート部は、大垣市民大賞も受賞しました。



# サッカー部

SOCCER



### 第52回 東海学生サッカーリーグ戦

【前期前半の試合結果】

- 東海学園大学 4-0 **岐阜経済大学** ●  
(ゆめりあSG)
- 中京大学 3-0 **岐阜経済大学** ●  
(ゆめりあSG)
- 常葉大学浜松キャンパス 1-1 **岐阜経済大学** △  
(エコパ補助G)
- **岐阜経済大学** 2-1 名古屋大学  
(岐阜赤坂G)

今年度の開幕戦となる第52回東海学生サッカーリーグ戦が4月6日から始まりました。昨年度の結果(1部8位)を上回るべく、チーム一丸となり勝利を掴みたいと思います。

白柳 慶太さん  
(スポーツ経営学科4年 高橋正(ゼミ)浜名高校出身)

今年度の初戦の東海学園大学との試合は、開幕戦ということもあり、勝ち点が欲しい試合でしたが、相手のほうが一枚も二枚も上手でした。この試合は、守備での課題が明確になる大事な一戦でした。二戦目の中京大学との試合では、課題である守備に力を入れ、失点はしたものの手ごたえを感じ、今まで準備してきたものが徐々に発揮できていると感じました。

そして名古屋大学との試合で、今期初勝利をあげることができました。ホーム戦ということで、多くの応援団や観客、そして東海学生サッカー連盟主催、西濃インビクタススポーツクラブと岐阜経済大学サッカー部協賛で行われた試合前のサッカー教室と選手入場時のエスコートキッズに参加してくださった子どもたちが見ている中で試合でしたので、なんとしても勝ち点が欲しい試合でした。皆さんの応援のおかげで勝利できた試合だと思います。ありがとうございました。



# 女子バレーボール部

WOMEN'S VOLLY BALL

## 平成25年度第135回東海大学女子バレーボールリーグ戦春季大会

### 最終結果 2部2位(6勝1敗)

- 3-1 静岡大学
- 3-1 常葉大学浜松キャンパス
- 3-2 皇學館大学
- 3-2 岐阜大学
- 3-0 椋山女子学院大学
- 3-0 名古屋学院大学
- 1-3 愛知教育大学
- 入替戦
- 1-3 静岡産業大学藤枝校舎

監督 杉本孝行

4月20日(土)に開幕した平成25年度第135回東海大学女子バレーボールリーグ戦春季大会(2部)は、5月19日(日)に閉幕しました。振り返れば、部員数が少なく、学内での練習ゲームもできない中で調整をし、リーグ戦中に課題の発見と克服を繰り返しながら臨んだ大会でした。最終結果は、2部2位ということと、5月26日(日)に、1部5位の鈴岡産業大学藤枝校舎との入替戦に望みましたが、またしても1部リーグの壁を破ることができませんでした。秋季リーグこそは、念願の1部リーグ昇格を果たせるように頑張りたいと思います。





# 陸上競技部

TRACK AND FIELD

# 東海学生陸上競技対校選手権大会

## 1種目優勝、8種目表彰台



陸上競技部と駅伝部は東海学生対校選手権大会において、男子総合2位、女子総合5位という好成績を収め、東海地区で大きな存在感を示しました。そして、男子4×400mリレーで初優勝したほか、8種目で表彰台(1位〜3位)に上りました。男子内盤投では9月に国立競技場にて開催される全日本インカレA標準記録を突破し、男子4×100mリレーでは、10月に日産スタジアムにて開催される日本選手権リレーの出場権を獲得し、全国大会での活躍が期待されます。



<b>●男子総合得点</b> 1位 中京大学 289点 2位 岐阜経済大学 101.5点 3位 愛知教育大学 64点 4位 至学館大学 49点 5位 静岡大学 37.5点	<b>●女子総合得点</b> 1位 中京大学 303点 2位 愛知教育大学 134.5点 3位 至学館大学 129点 4位 名城大学 63点 5位 岐阜経済大学 43点
<b>●男子4×400R 1位 &lt;記録&gt; 3分12秒66</b> 川野 直哉(スポーツ経営学科1年 名古屋大谷高校出身) 山本 智也(スポーツ経営学科3年 水口高校出身) 東 魁輝(スポーツ経営学科2年 伊勢工業高校出身) 高橋 拓也(スポーツ経営学科3年 岐南工業高校出身)	<b>●男子400m 3位 &lt;記録&gt; 47秒66</b> 高橋 拓也(スポーツ経営学科3年 岐南工業高校出身)
<b>●男子4×100R 2位 &lt;記録&gt; 40秒19</b> 東 魁輝(スポーツ経営学科2年 伊勢工業高校出身) 増田 貴(スポーツ経営学科3年 島田樟誠高校出身) 山本 智也(スポーツ経営学科3年 水口高校出身) 加藤 慎也(スポーツ経営学科2年 桑名工業高校出身)	<b>●男子110mH 3位 &lt;記録&gt; 14秒69</b> 霜鳥 広貴(スポーツ経営学科4年 長岡商業高校出身)
<b>●男子円盤投 2位 &lt;記録&gt; 46m09</b> 山田 晃広(経済学科3年 市立岐阜商業高校出身)	<b>●男子走幅跳 3位 &lt;記録&gt; 7m16</b> 有賀 大貴(スポーツ経営学科3年 大阪高校出身)
<b>●男子100m 3位 &lt;記録&gt; 10秒79</b> 増田 貴(スポーツ経営学科3年 島田樟誠高校出身)	<b>●女子4×100R 3位 &lt;記録&gt; 47秒71</b> 古川 真瑚(スポーツ経営学科1年 済美高校出身) 森川 美穂(スポーツ経営学科4年 東海大翔洋高校出身) 山口 恵梨(スポーツ経営学科1年 富山商業高校出身) 鈴木 咲子(スポーツ経営学科4年 東海大翔洋高校出身)
	<b>●女子砲丸投 3位 &lt;記録&gt; 11m52</b> 杉ノ下 葵(情報メディア学科3年 県立岐阜商業高校出身)

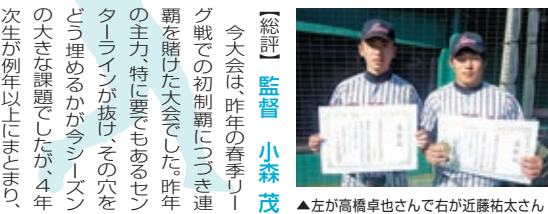


# 硬式野球部

BASE BALL

# 平成25年東海地区大学野球連盟岐阜県学生野球春季リーグ戦

今年度は、昨年の春季リーグ戦での初制覇につき連覇を賭けた大会でした。昨年の主力、特に要でもあるセンタースタインが抜け、その穴をどう埋めるかが今シーズンの大きな課題でしたが、4年次生が例年以上にまっすぐ、大きな力も、更に力のある新一年次生を積極的に起用し、万全の状態で大会初日を迎えたつもりでした。ところが、ある一球をきょうかけに絶対に落とせない大事な初戦を落とし、その後も勝てる試合を勝ちきれず、改めて一球の怖さ、リーグ戦の難しさ、岐阜県リーグのレベルの高さを思い知らされました。一方で収穫は、新一年次生の台頭。今後の課題をしっかりと見据え、秋季に向けて新たなチーム作りに取り組みしていきます。



▲左が高橋卓也さんと右が近藤祐太さん

**【総評】監督 小森茂**

今大会は、昨年の春季リーグ戦での初制覇につき連覇を賭けた大会でした。昨年の主力、特に要でもあるセンタースタインが抜け、その穴をどう埋めるかが今シーズンの大きな課題でしたが、4年次生が例年以上にまっすぐ、大きな力も、更に力のある新一年次生を積極的に起用し、万全の状態で大会初日を迎えたつもりでした。ところが、ある一球をきょうかけに絶対に落とせない大事な初戦を落とし、その後も勝てる試合を勝ちきれず、改めて一球の怖さ、リーグ戦の難しさ、岐阜県リーグのレベルの高さを思い知らされました。一方で収穫は、新一年次生の台頭。今後の課題をしっかりと見据え、秋季に向けて新たなチーム作りに取り組みしていきます。

成績 5勝 8敗 4位

個人表彰  
 打点王 近藤 祐太(スポーツ経営学科3年 静岡高校出身)  
 本塁打王 近藤 祐太(スポーツ経営学科3年 静岡高校出身)  
 ベストナイン(一塁手) 高橋 卓也(スポーツ経営学科4年 藤井学園高校出身)

**第1節**  
 4/13 中京学院大学 1回戦 ●1-8(8回コールド)  
 4/14 中京学院大学 2回戦 ○3-1  
 4/15 中京学院大学 3回戦 ●0-2

**第2節**  
 4/20 岐阜大学 1回戦 ○14-7(8回コールド)  
 4/22 岐阜大学 2回戦 ○11-1

**第3節**  
 4/27 朝日大学 1回戦 ●2-4  
 4/28 朝日大学 2回戦 ○9-0(7回コールド)  
 5/1 朝日大学 3回戦 ●3-4(延長12回サヨナラ)

**第4節**  
 5/4 岐阜聖徳学園大学 1回戦 ●1-2  
 5/5 岐阜聖徳学園大学 2回戦 ○3-2  
 5/6 岐阜聖徳学園大学 3回戦 ●3-6

**第5節**  
 5/18 中部学院大学 1回戦 ●0-8(7回コールド)  
 5/19 中部学院大学 2回戦 ●1-5



# スキー部

SKING

# 2012年度を終えて

## 2012年度大会結果

スキーの競技は、攻めなければ良い結果が残りませんが、昨シーズンは途中棄権が多く、結果をあまり残せなかったことが今後の課題です。難コースの花輪スキー場で行われた「あきた鹿角国体2013」も残念ながら途中棄権でした。2013-2014シーズンも応援をよろしくお願いたします。

**部長 石坂信郎 教授**



▲大川 翔子さん (スポーツ経営学科3年 久居高校出身)

**第58回 中部日本学生スキー選手大会**  
 平成25年1月14日(月)~16日(水)(3日間)  
 長野県岩岳スキー場  
 女子 スーパー大回転 横井 聖 6位  
 女子 大回転 横井 聖 5位  
 女子 回転 横井 聖 途中棄権[1st RUN]  
 女子総合 5位



▲横井 聖さん(スポーツ経営学科3年 三好高校出身)

**東日本大震災復興支援 第68回国民体育大会冬季大会(あきた鹿角国体2013) スキー競技会**  
 平成25年2月16日(土)~2月19日(火)(4日間)  
 秋田県花輪スキー場  
 横井 聖 途中棄権  
 大川 翔子 途中棄権

**秩父宮杯・秩父宮妃杯 第86回 全日本学生スキー選手権大会**  
 平成25年2月20日(水)~2月25日(月)(6日間)  
 岩手県安比高原スキー場  
 2部 女子大回転 大川 翔子 26位  
 横井 聖 途中棄権[1st RUN]  
 2部 女子回転 横井 聖 14位  
 大川 翔子 途中棄権[1st RUN]  
 女子2部 総合19位

**第83回 全関西学生スキー選手権大会**  
 平成25年3月8日(金)~3月13日(水)(6日間)  
 新潟県赤倉温泉スキー場  
 女子 大回転(チャンピオン大会:個人) 横井 聖 10位  
 大川 翔子 17位  
 女子大回転(大学対抗戦) 横井 聖 12位  
 大川 翔子 24位  
 女子 回転(チャンピオン大会:個人) 大川 翔子 13位  
 横井 聖 途中棄権[1st RUN]  
 女子 回転(大学対抗戦) 大川 翔子 17位  
 横井 聖 失格[2nd RUN]  
 女子総合 9位

## 教職課程懇談会を開催

3月9日(土)、本学において教職課程懇談会を開催し、本学OBの現職教員・講師等21名、教職課程履修生21名(1年次2名、3年次15名、4年次4名)が参加しました。

この懇談会は、教職課程を履修している学生が、現在の教育現場の実状や教員採用試験に向けての学習方法を先輩から聞くことのできる貴重な機会として、昨年度から開催しています。

懇談会は、石原健学長の挨拶から始まり、古口博之教務部長より教職課程の実績について、伊藤敏雄経済学部教授より本学教職課程の指導体制について説明がありました。続いて、本学OB教員および学生が入すつ自己紹介を行った後、4名のOB教員からの現場報告がありました。その人の志賀英司さん



### 参加した学生の感想



横井 孝典さん  
(経済学部2年 専攻ゼミ「杜若高等学校」)

私には、高校の教員になりたいという目標があり、教員のことについて少しでも多くの知識を身に付けたいと思い、積極的に教職課程懇談会に参加しました。遠いところでは福島県のOBの方も参加してくださり、全国各地にOB教員がいることを知りました。私も岐阜経済大学の教職課程でしっかりと学び、絶対に教員になると決意しました。OB

(南相馬市立石神第小学校校長 からは、震災時の教育現場での対応などを、当時の体験談を交えてご報告いただきました。余震の揺れがひどいため、数十メートル先の放送室へ歩いて行くこともできなかったことや、恐怖で泣き叫ぶ児童を着のみ着のまま避難させたが、当口は雪が降り寒かったため、校長・教頭先導の下、教員が手分けして児童の防寒具を取り戻すなど、ご本人とご家族は南相馬市に住んでいたため、震災後の原発事故により計画的避難区域に指定され、現在は離れ離れになつており、今回の懇談会出席を機会に家族で大垣市に來られ、久々に家族揃って過ごされたことなどが語られました。

次に、教員採用試験に向けての対策や現在の教育問題への対処について、在学生に向けて左記のような多くのアドバイスをいただきました。

- ◆教員採用試験を受験する県の出題傾向をつかむこと
- ◆論文文ではいくつかのパターンを作成、暗記しておく
- ◆試験時にはキーポイントとなる教育用語を使用すること
- ◆練習で書いた論文は必ず誰かに添削してもらうこと
- ◆模擬面接をたくさん経験し、面接時は端的に答えること
- ◆大学での講義等で専門性を高めること
- ◆児童・生徒の問題には複数の教員であること
- ◆(体罰防止のため)手の届かない距離を児童・生徒ととること
- ◆教員として「使命感」を持って臨むこと

教員からの現場報告は、どの報告も私の好奇心や教員になりたいという目標を後押ししてくれる話ばかりで参加してよかったです。また、全国で多くのOB教員が活躍してみえることもわかりました。懇談会では、4名のOB教員と話すことができました。私が聞きたいことに全て答えて頂き、本当に感謝しています。この教職課程懇談会で学んだことを忘れず、これからの勉学に生かしていきたい、励んでいきます。本日に充実した時間を過ごすことができましたので、来年もこのような機会があれば参加したいと思えます。

## 岐阜県立不破高等学校と 高大連携教育協定を締結

4月23日(火)、岐阜県立不破高等学校と本学は、高大連携教育協定を締結しました。本学は、これまで地域社会を支える人材を高等学校と連携して育成するために、高大連携教育協定の締結を進めてきました。今回の岐阜県立不破高等学校との締結により、連携協定締結校が9校となりました。

調印式では、まず本学の竹内治彦副学長(地域連携担当)より、連携協定に至った経緯と意義について説明がありました。その後、双方の代表者から挨拶がありました。

不破高等学校の高木俊明校長からは「本校はキャリア教育を柱の一つとしている。地域に根ざし、地域に貢献できる人材育成を目標としており、岐阜経済大学の建学の精神とも一致する。相互に協力することで、実のある事業に発展させることができれば。」と挨拶がありました。

本学の石原健学長は「お互い協力して人材を育成できることに喜びを感じる。日常の大学を見せることにより、高校生の皆さん自身が『何が必要なのか』を気づく機会としてほしい。」と語りました。



## 徳永俊太講師が博士号を取得しました

徳永俊太経済学部講師は、2013年3月25日付で京都大学大学院教育学研究科より博士(教育学)の学位を授与されました。

学位論文は、「イタリアの歴史教育理論に関する考察 ―歴史教育と歴史学を結び「探究」―」。



# 2012年度ユニークプランの紹介

## 体験型学習を通して 学生の学びを広めよう

根津 賢太さん  
(経済学科4年 今井ゼミ 十日町総合高校出身)

私たちは机上の講義だけでは学習に楽しさを感じる人が少ないという問題意識から、どのような講義が学生を引き付けるのかを考えました。そして、学校外での



▲愛知淑徳大学の学生と

視察や調査、奉仕活動などを通して学ぶ、「体験型学習」を受けているときは、その講義に対してやりがいを感じることができると考え、「体験型学習」は学びに対する意識や学習速度を高める効果があるのではないかとこの仮説を立てました。

そこで、学内で体験型学習を実施している先生にアンケート調査を行い、本学の現状を学んだ上で、先進的な体験型学習プログラム(サービスマーケティング)を導入している国際基督教大学・愛知淑徳大学・立命館大学に Outreach、そのプログラムを実施する教員や実際に受講した学生に対して、ヒアリング調査を行いました。教員への調査から、体験型学習は計画する上で気をつけるべき点があることや体験型学習が与える効果などがわかりました。また、学生への調査からは、体験型学習と通常講義の違いやその魅力、自分に身についたと思う力などの情報を得ました。

その後、和歌山大学での『日本ボランティア学習学会』において、これらの調査結果を報告しました。その際に、日頃ボランティアをしたあとの学びであるサービスマーケティングを展開している研究者の方々から、岐阜経済大学内での他の学生や教員との意識の差の調査が必要という意見をいただき、引き続き調査をしていくことが必要であると感じました。

この調査を通して、本学に国際化・地域実践・資格取得の3方面からのサービスマーケティングの形を提案して、学生や先生方にとってよりよい教育が本学で展開されればと感じました。



## まちづくりについて 考えてみる

谷口 舞さん  
(ホーツツ経営科4年 高橋正ゼミ 鹿沼長姫高校出身)

今回、ユニークプランを利用して10月27日、28日に「まごころハロウィンプロジェクト」というボランティア企画に参加しました。

このボランティアは、愛知県新城市の農業をしている20代の若者が主体となっており、自分達の育てたカボチャを使って、町全体でハロウィン(子ども達が地域の家を回りお菓子をもらう)のイベントを企画し、改めて地域の人の交流を深め、少子高齢化や地域づくり・活性化について考えるという内容です。

8月上旬、初めて新城市を訪問し、実行委員の方と顔合わせをして、実際に畑の見学、ハロウィンイベントの内容確認をしました。

10月上旬、2度目の訪問をし、イベントに使用する子どもたちの衣装を地域の方で作成しました。そして実際にカブルート・場所の下見も行い、本番に向けての再確認をしました。

10月27日(日)よよよ本番を迎え、子ども達や父母の方が公民館に集まり、カボチャのランタン作りから始まりました。完成したカボチャは、指定された家に置かれ、明かりを灯すこともきれいなオレンジ色になり、仮装した子どもたちが家々をまわり、楽しそうに交流をしていました。

28日(月)の10月28日は、新城市の「軽トラ市」でハロウィン衣装を着た子供達の仮装パレードを行いました。最後に、さらに交流を深めるために、公園で新城市の特産品の出店や、抽選会などを行いました。

新城市は「少子高齢化」「町の活性化」という問題について正面から受け止めており、ユニークプランを終えて、若者が5年後、10年後を見据えて町づくりを行っていくことの大切さを実感しました。中でも世代間交流というのは良い例で、地域に住む子ども達に町の良さだけでなく、「地域住民との関わりを密接にしていこう」との重要性を伝えるためにこの企画を行うことを学びの良い経験ができました。



本学には、研究調査助成制度(ユニークプラン)があります。この制度は、独自の研究・調査・その他の活動を企画する学生たちに助成金を給付するものです。昨年度、認定されたプランは左記の3つです。

## 大垣市の観光 PRビデオの作成

藤尾 敏久さん  
(情報メディア学科4年 安田ゼミ 不破高校出身)

私たちがこのテーマにしようと思ったのは、自分たちが通っている大垣市に「どうすれば興味を持ってもらえるのか?」「どうすれば観光客を増やすことができるのか?」と考えたからです。そこで、私たちは自分たちでPRビデオを作成して、大垣の街の魅力を多くの人に広めることにしました。

作業工程は左記のとおりに進めました。工夫した点は2つあり、1)目は撮影班と広報班に分かれて作業分担をし、作業効率を上げたことです。2)目は、今回撮影した動画はたくさんの人に見てもらおう事を前提としていたため、大垣市の中でも駅から歩いて10分以内の観光地にした事です。

こうして完成した作品を、一度他の学生に見てもらい、その上で、アンケート調査を行いました。感想の中には「間」ながらもかなりのインパクトを取り入れたほうが地元の人々の声も聞けた」など、私たちの作品を見て真剣に答えてくれるものが多々ありました。その感想をもとにさらに編集を加えた動画を大学のサイトにアップする予定です。

今回のテーマを通して、大垣の事をあまり知らない人たちに興味を持ってもらう大変さを知りつつ、地域貢献について考えたい体験になりました。



### 作業工程

- 9月 撮影場所の選定および撮影場所の決定
- 10月 撮影場所の下見
- 11月 撮影開始 動画編集
- 12月 動画発表 アンケート調査
- 1月 アンケート集計結果・考察



### 就職率96% 3年連続上昇 — 2012年度就職活動総括 —



▲岩坂和幸  
キャリア支援部長

2012年度の就職活動は、広報活動（会社説明会）の開始が10月から12月に2ヶ月後ろ倒しとなり、学生の就職活動期間が2ヶ月短縮化されました。そのため、学生の業界・企業研究が不足し、「入社後に何がしたいのか、また、何ができるのか」等の志望動機が明確に言えない学生は苦戦を強いられました。企業の採用意欲は、緩やかに回復し、求人社数も5,477社で前年比22.9%増となりました。しかし、企業の採用基準は、「コミュニケーション能力の高い人材及びグローバル人材を求める等、質重視が一層強まり依然厳しい状況となりました。また、学生の地元志向が強まり地元の中堅中小企業への希望が増え、出身地のハローワークと大学の連携によるマッチングの結果、就職率は96%と前年比2.3%増となり、3年連続で改善しました。

2012年度の就職活動は、広報活動（会社説明会）の開始が10月から12月に2ヶ月後ろ倒しとなり、学生の就職活動期間が2ヶ月短縮化されました。そのため、学生の業界・企業研究が不足し、「入社後に何がしたいのか、また、何ができるのか」等の志望動機が明確に言えない学生は苦戦を強いられました。企業の採用意欲は、緩やかに回復し、求人社数も5,477社で前年比22.9%増となりました。しかし、企業の採用基準は、「コミュニケーション能力の高い人材及びグローバル人材を求める等、質重視が一層強まり依然厳しい状況となりました。また、学生の地元志向が強まり地元の中堅中小企業への希望が増え、出身地のハローワークと大学の連携によるマッチングの結果、就職率は96%と前年比2.3%増となり、3年連続で改善しました。

### ハローワークの新卒応援について



▲大垣公共職業安定所  
大橋金二 所長

ハローワーク（厚生労働省）では、大学院、大学、短大、高専、専修学校等の在学生やこれらの学校を卒業した方を対象に、全国ネットワークを活用した就職支援を行っています。具体的には、全国各地の求人情報の提供、仕事探しに関する相談、就職フェアや各種セミナーの開催、既卒者への就職支援等々です。お気軽にお問い合わせください。

とくに、ハローワーク大垣では、岐阜経済大学と緊密な連携のもと、就職支援に当たって専門の相談員（シヨブサポーター）を派遣して、ハローワークコーナーを開設しています。併せてお気軽にご相談、ご利用をお願いいたします。

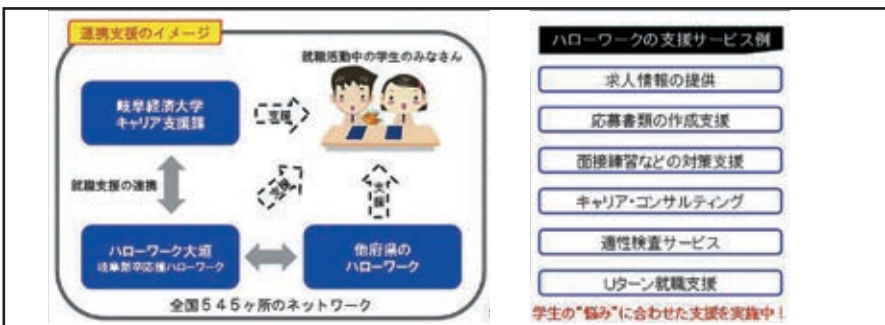
### ■就職率の推移（過去3カ年）

年度	2010年度	2011年度	2012年度
本学卒業生数	322	243	285
本学就職希望者数	268	205	251
本学就職決定者数	249	192	241
就職率	92.9%	93.7%	96.0%
全国平均	91.1%	93.6%	93.9%
岐阜県平均	90.5%	91.1%	93.6%
求人社数	3,980	4,458	5,477



### ハローワークと連携した就職支援

岐阜経済大学ではハローワーク大垣と連携して在学生の就職支援を様々な事業を通して行いました。事業の特徴は、一般的な4年生向けの「就職活動支援」に留まらず、1年生向けの「就職講話」の実施や、就職活動を控えた3年生対象の「就職活動準備支援」を大学のキャリア教育プログラム・キャリア形成授業にハローワークが参画するなど、年次に合わせた就職支援を実施してきたことです。



**ハローワークを活用してリターン就職した学生の事例**

富山県出身の西片くん（スポーツ経営学科）4年生の年末に、リターンして地元に着いた企業に就職することを決めました。しかし問題が2つ。1つは、地元に着いた企業の求人情報が、なかなか見つけにくいこと。もう1つは、地元に戻ると気軽に大学キャリア支援課へ相談に行けなくなることでした。そんな西片くんが就職できた理由とは...?

**西片くんの就職活動ステップ**

- ・大学キャリア支援課で、ハローワークの学卒ジョブサポーターに相談
- ・ハローワーク大垣で求職登録
- ・地元の求人情報の検索方法を知る
- ・富山県にある地元ハローワークの担当者へつないでもらう
- ・富山県内のハローワークで応募前の相談や、応募書類添削などの支援を受ける
- ・西片くんの希望に合った地元密着の企業で内定を獲得!

ハローワークは「転職希望者」や「フリーター」が行く所というイメージがあるかもしれませんが、しかし先述した大学との連携支援のように、在学生の就職支援にも力を入れています。具体的な就職支援サービスは、求人情報の提供の他、応募書類の添削、面接練習など学生の希望や悩みに合わせた実践的な支援を行っています。

また、全国545ヶ所にあるハローワークのネットワークを活かし、リターン就職・リターン就職を希望する学生の架け橋となる支援も行っています。

# 地方分権と経済成長率の関係を考える



経済学部

やき た さやか  
**焼田 紗** 講師

私は大学院に進学してから、「地方分権が、地域経済の活性化や効率化を通じて、一国の経済成長を促すことができるのか？」という問題意識のもと、中央政府と地方政府の役割分担や地方分権と経済成長の関係について、経済理論を用いて研究を進めてきました。

地方分権に関する議論はわが国でも重要な関心の一つであり、「地域のことは地域の住民が決める」ことを目指して、平成21年には地域主権戦略会議が設置されました。また、地方分権に関する議論は、財政・公共経済学の分野においても多くの経済学者の関心を集め、これまでに理論・実証の両面から分析がされています。

地方分権に関するこの分野の研究では、1990年代後半から、地方分権と経済成長率との関係性を明らかにしようとの試みがなされるようになりました。特に、各国のデータを用いた実証研究が進んでおり、最近の研究では、地方分権の進捗度を横軸に、経済成長率を縦軸にとった図に描くと、地方分権と経済成長の間には逆U字型の関係があることが示

されています。これは、経済成長率が最大となるような地方分権の度合いが存在することを表しています。また同時に、地方分権の効果は、経済の発展段階（先進国、新興国など）によっても異なるという結果がこれまでの研究によって示されています。このように、研究が進むことにより

地方分権と経済成長の関係が明らかになりつつありますが、これまでに多くの実証研究がおこなわれてきたのとは対照的に、地方分権と経済成長の関係を理論的に考察した研究はまだ多くはありませんでした。そこで、実証研究で示された結果を理論的に明らかにすることを目的として研究に取り組んできました。

私の分野では英語の論文を読むことが多く、大学院生のときには英語、経済理論と格闘する日々でした。研究と格闘する自分の姿を夢のなかでも幾度となく見た気がしますが、現在はこのような経済学に携わる職業につけたことに感謝しています。研究にゴールはないため、これからも日々精進していきたいと思っています。



## PROFILE

福岡県生まれの名古屋育ち。小さいころから運動が好きで、中学・高校時代は硬式テニス部に所属していました。高校生になって進路を考えたとき、興味のある経済学と考古学のどちらにするかで悩みましたが、最終的には経済学部に進学しました。そして、大学生の時に受けた講義をきっかけに公共経済学に興味をもち、大学院に進学することに。大学を卒業後、名古屋大学大学院経済学研究科に入学し、2011年に博士（経済学）を取得。専門は、公共経済学、マクロ経済学。博士課程後期課程を修了後、同大学の研究員を経て2012年4月より本学に着任し、現在に至る。主にマクロ経済学を担当。

## 趣味拝見

趣味は中学・高校と続けてきたテニスです。大学・大学院時代はしばらく休んでいましたが、体力づくりのために最近再開しました。休日は時間をみつけて主人と一緒に練習をしています。最初は初心者の方に教えるつもりで始めたのですが、そのような腕前ではなく、結局は私も基礎から勉強することに(笑)。なかなか上達しませんが、ボールを追いかけて汗をかくことはいいリフレッシュになっています。

その他には、旅行が好きです。特に、国内の温泉地を巡ってのんびりとした時間を過ごすことが最近の楽しみです。まだ行ったことのない温泉地もたくさんあるので、これから色々な温泉地を訪ねて回りたいです。



▲ハワイにて撮影



▲ドイツにて撮影

## キャリア形成Ⅲの講義において岐阜労働局長 佐々木秀一氏にご講話いただきました。

4月11日(木)、竹内治彦教授が担当する、キャリア形成Ⅲ(3年次生対象)の第1回講義において岐阜労働局長 佐々木秀一氏にご講話いただきました。

本学は2010年度からハローワーク大垣・岐阜労働局と連携して、ジョブ・カードの作成やグループディスカッション対策、面接指導などを行ってきました。今年度も新3年生に対して、早い時期から就職活動の準備を始めてもらうことを目的に、新たに局長講話の機会を設け、賢い就職活動の方法を学ぶ機会としました。

講義の中で同氏は、753転職と呼ばれる大卒でも3年以内に3割が転職してしまう状況について触れ、労働法についての正しい知識を持つことがトラブルを減らし、延いては転職しないですむことにつながるとして、「知っておきたい労働法」をテーマに、働くときの権利や義務、雇用者と労働者のトラブル解決法などを解りやすく解説されました。

出席した約250名の学生は通常の講義では聞けない内容に、真剣に耳を傾けメモをとっていました。同氏は講義の最後に「私たちも支援しますので、決してあきらめないで頑張ってください。」と学生達にエールを送りました。講義を聴講した武藤武さん(情報メディア学科3年 郡上北高校出身)は、「今まで、アルバイトの立場では労働法をあまり意識していませんでした。今回の講義を聴いて、すごく為になりました。社会にでたときにも役立てたいです。」、山田晃広さん(経済学科3年 市立岐阜商業高校)は、「自分が就職して働き出したときに、何かトラブルが起きた場合は労働法を調べてみたいと思いました。」と感想を述べました。



▲講義をされる佐々木労働局長



# キャリアパス 彩々 Campus Saisai

## 新入生337名が希望を胸に入学!

4月3日(水)、第47回(2013年度)入学式を挙行し、経済学部、経営学部、大学院、留学生別科へ計337名が入学しました。

式では、石原健一学長が、「先生や友人とともに勉強し、クラブ活動などを通し、豊かな人間性を培い、日に日にたくましく成長していくことを期待します。」と式辞を述べました。続いて土屋嶋理事長の挨拶、来賓の小川敏大垣市長の祝辞を賜りました。

その後、在學生を代表し、学生会議長の吉川類さん(スポーツ経営学科4年 若狭高校出身)が、「今、一緒にいるみんなが4年間を共にする第1の仲間です。嬉しいことがあれば共に喜び、悲しい、辛いことがあれば共に励ましあえる、そういった友人を作ってください。また、他大学の友人も作り、たくさんの人と関わり、魅力的な人になれるよう頑張ってください。」と激励の言葉を述べました。それに応えるように、新入生代表の古川大さん(情報メディア学科1年 大垣南高校出身)は「どんなことにも真剣に取り組み、岐阜経済大学の学生であることに誇りを持ち、これからの大学生活を送りたいと思います。」としっかりと口調で決意を述べました。午後からは、学生会主催の新入生歓迎会が行われ、新入生の中に在學生や教職員が入り、会話をしみながら食事をしました。歓迎会では、じゃんけん大会やビンゴ大会も開催され、豪華景品を競って盛り上がりました。



▲新入生代表の古川大さん

## 谷江幸雄教授(前学長)が大垣市功労章を受章

4月1日(月)、大垣スイトピアセンターにて、平成25年度大垣市功労者表彰式が開催され、本学谷江幸雄教授(前学長)が大垣市功労章を受章しました。

大垣市功労章は、大垣市の公益発展に貢献した方に贈られるものです。同教授は、本学学長として先進的な地域連携の推進や、常に自主的に考えて行動できる人材の育成に尽力したほか、大垣市都市計画景観審議会会長をはじめとした各種委員会の委員として大垣市の都市計画や市民活動の推進に尽力されました。今回は、この功績が認められての受章となりました。



▲小川市長から賞状を受けとる谷江前学長(右)

## ギター部とHIGE☆BUが、中川さくら祭に参加

4月6日(土)の10時から大学の北にあるサンビレッジ大垣において、第7回中川さくら祭が開催されました。

楽器演奏やダンスのパフォーマンスが行われ、模擬店も出店されました。本学からは、ギター部(ギター演奏)とHIGE☆BU(子ども向けの輪投げ企画)が参加しました。

当日はあいにくの強風と雨のため、残念ながら午後からの企画が中止(本学のボランティアバンドサークルのバンド演奏も中止)となりましたが、悪天候にも関わらず、午前中には、サンビレッジ大垣の入居者や地元住民をはじめ、多くの子どもたちが来場しました。

特に、HIGE☆BUの実施した輪投げの企画には、多くの子どもたちが集まり、挑戦した子どもたちは、新聞紙を丸めて作った輪を握り、楽しそうに的(駄菓子)を狙っていました。

また、年上のお兄さん、お姉さんである本学学生とも交流し、楽しんでもらえたようです。今回のイベントに参加することで、本学学生は地域のみなさんとのつながりをより一層深めることができました。



▲輪投げの準備をする学生たち

## 恒例行事!おおがきたらい舟の船頭を務め、大垣観光案内

4月20日(土)、大垣の春の風物詩「水の都おおがきたらい舟」(大垣市観光協会主催)が大垣市水門川で始まり、本学学生が船頭を務めました。

初日の20日は、本学の学生4名が船頭を務め、今までの練習で身につけた操船術で約1.1kmを案内しました。学生達は、大垣案内の講習も受けており、乗船客と楽しそうにコミュニケーションをとっていました。

学生船頭の案内で川下りをした乗船客の方からは、「安心して乗ることができ、川の流れもゆったりとしていて気持ちよかったです。大垣の案内も一所懸命してくれたので、大垣のことがよくわかりました。」と感想をいただきました。

この川下りは、2003年から始まり、マイスター倶楽部は2004年から毎年、船頭を務めています。



▲案内をしながらたらい舟を操る学生

## 地域企業研究Ⅲの講師として協力企業の役員の方を招聘

経済学部経済学科企業人育成コースの授業科目「地域企業研究Ⅲ」(菊本舞准教授担当)において、同コース協力企業の株式会社トーカイ 大野隆章常勤監査役と揖斐川工業株式会社 井上豊秋代表取締役社長を講師としてお招きしました。

企業人育成コースでは、岐阜県内の有力企業17社の協力のもとで、「生きている経済」を教材に経済学を発展的に学びます。そのコースの講義の一つとして、地域企業研究Ⅲという講義があり、今年度の前期は岐阜県内の有力企業3社より講師の方にお越しいただきます。

講義の1回目から3回目までは、株式会社トーカイの大野隆章常勤監査役に社歴や人材育成、事業戦略や将来展望などをご説明いただきました。大野氏は講義のなかで、「今は、社会で必要になる能力と現在の自分の能力にギャップがあってもいい。問題意識をもって残りの学生生活で足りない力を身につけてほしい。」と学生たちにエールを送りました。また、4回目から6回目には、揖斐川工業株式会社の井上豊秋社長に現状や事業の多角化などをご講話いただきました。井上社長は「世界は国際化の時代、世界を舞台に活躍できる人になって

ほしい。」と、学生たちにメッセージを送りました。そして、6回目には揖斐川工業株式会社の原石掘削現場や工場見学をさせていただきました。学生たちは普段見ることのできない生の現場を見て、参加した学生は、「施設に害虫を入れないための配慮や高品質な野菜を育てるための設備など、植物を育てることに徹底しているところに驚きました。また、愛知・岐阜・三重に美味しい野菜を届けたいという情熱が伝わってきました。」と感想を述べました。



▲講義をされる(株)トーカイの大野常勤監査役



▲講義をされる揖斐川工業(株)の井上代表取締役社長

2013年度

# オープンキャンパスを 開催します。

2013年度  
オープンキャンパス開催！ 学生スタッフを募集します。

「ギブキのありのままを体感しよう」をキャッチフレーズに実施しているオープンキャンパス(以下OCC)。2013年度も左記の日程で実施します。近年、受験生に特に好評なのが、在学生の皆さんによるトークショーで、毎回違う4名ほどの学生の皆さんに、壇上でトークショー形式でありのままの学生生活を語ってもらうもの。生まれて初めて一人暮らしをする下宿生の日常や、クラブ・サークルでストイックに鍛えたり、様々な資格の取得を目指して日夜頑張っている学生の皆さんの率直な声は、大学進学を目指す受験生やその保護者の心をグッと惹きつけているようです。

また、「OCC当日の施設のご案内をしり、受付や会場での誘導などをしてくださる学生の方との会話がとても印象的だった」という感想も多数寄せられています。

今年度も学生スタッフとしてオープンキャンパスに協力いただける学生の皆さんを募集します。オープンキャンパスへの協力以外にも、「広報」活動や広報ツール作成に興味のある皆さんも募集しています。詳しくは入試広報課まで。



## オープンキャンパス

- 7月27日(土) ●8月18日(日)
- 9月7日(土) ●10月6日(日)

## 学園祭オープンキャンパス

●11月16日(土)・17日(日)  
活気でワイワイ「岐経祭」(大学祭)の模擬店テントに並べてOCCブースを設置。個別相談を承ります。テント内では富有柿の販売etcも…。

## クリスマスオープンキャンパス

●12月21日(土)  
大学案内と個別相談、キャンパスツアーがメインメニュー。クリスマスだけに学生企画に乞うご期待!

## スプリングオープンキャンパス

●3月21日(祝・金)  
メインOCCの春バージョン。高校2年生・1年生のみなさん、新年度はココから始まっている…。

## マンスリーオープンキャンパス

●6月8日(土) ●1月11日(土)  
●2月8日(土)  
個別にスタッフが相手します! 事前にご連絡いただければありがたいです。  
お問い合わせ 入試広報課 0120-77-3514  
nyuushi@gifu-keizai.ac.jp

## 会場一覧

開催日	6月22日(土)	6月29日(土)	7月14日(日)
地区	本学会場	沖縄会場	福井会場
会場	岐阜経済大学 大垣市北方町5-50 (0584)77-3511	パシフィックホテル沖縄 那覇市西3-6-1 (098)868-5162	ユアーズホテルフクイ 福井市中央1-4-8 (0776)25-3200
開始時刻	総 会: 10時 父母懇談会: 11時	11時	13時

## 2013年度 親和会総会・父母懇談会を開催します!

ご父母の皆さまと大学の相互理解を深めるため、今年も親和会・父母懇談会を開催いたします。

当日は大学概要、成績及び就職に関するガイダンスのほか、本学教員による講演会や、日ごろの疑問・悩み等を直接お聞かせいただく個別懇談も予定しております。

この機会に同郷のご父母の皆さま同士のつながりも深めていただければ幸いです。

今年も多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



## 法人役員・評議員の就任

3月18日(月)及び5月29日(水)開催の学校法人岐阜経済大学理事会並びに評議員会において左記の方の就任が承認されました。

### 理事(再任)

堀 富士夫 (徳アリアカスト  
代表取締役TOC(RO)会長)

### 評議員(新任)

日比 利雄 (豊テビシー代表取締役社長  
高橋 利行 (岐阜県立文壇高等学校校長)

### 理事・評議員(新任)

高原 剛 (岐阜県副知事  
大垣市議会議員)

### 監事(新任)

山本 謙 (大垣市教育長)  
大島 亮一 (大垣アズメ代表取締役社長)

## 教職員人事

### 新規採用

藤井 えりの  
経済学部講師  
立命館大学大学院  
政策科学研究科  
博士後期課程  
単位取得

崔 宇  
経営学部講師  
大阪市立大学大学院  
経営学研究科  
後期博士課程修了  
博士(経営学)

中西 大輔  
経営学部講師  
日本大学大学院  
経済学研究科  
博士後期課程  
単位取得

井上 香  
図書館専門員

川畑 幸永  
キャリアアドバイザー

福井 晴次  
キャリアアドバイザー

### 昇格

山田 武司  
経済学部教授(経済学部准教授)

### 退職

青柳 和身  
経済学部教授

### 梅木 真寿郎

経済学部准教授(経済学部講師)  
財務課長(財務課長心得)

塚谷 文武  
経済学部准教授

### 坂 覚則

学生課長補佐(学生課主任)  
熊崎 仁美  
教務課主任(教務課主任)

山田 富貴  
経済学部准教授

### 小森 茂

熊崎 仁美  
教務課主任(教務課主任)

黒川 博  
経営学部教授

### 松原 千里

総務課主任(総務課主任)  
2013年4月1日付

猪平 進  
経営学部教授

### 名譽教授

2013年4月1日付

岩崎 康之  
スポーツ指導職員

### 青柳 和身

経営学部教授

渡邊 明  
客員教授